

# 金光教広島平和集会拝詞集

## 平和の祈り

戦いのなき世をぞ祈る 原爆に

あたらし散られし 人を偲びて (二回奉唱)

永久に語り伝えよ 悲しかる

原爆のこと 人ちよう人は (二回奉唱)

## 平和祈願詞

生神金光大神様 天地金乃神様。 (先唱者奉唱)

生神金光大神様 天地金乃神様。

神様のみ心のままに。世界のすべての人々の間に。

争いのない。分けへだてのない。互いに助け合う。

平和な社会が実現致しますよう。

真一心に祈らせて下さい。

心一筋に努めさせて下さい。

生神金光大神様 天地金乃神様。

生神金光大神様 天地金乃神様。

## 原爆死没者霊前拝詞

あわれ御霊たちはや。(先唱者、この一句を唱う)

昭和二十年八月六日。人類史上にかつてなき原子爆弾 これの広

島市に投下され。この世のこととも思えぬ惨状となりて。あたらし  
尊き命を失いたまいし御霊たちはや。偲びまつるもせつなく。思

い起こすもいたましき限りなりけり。数知れぬ汝たちのゆゆしき  
犠牲ありて。とどめ難き戦争は終局を告げ。平和の日を迎えしは  
忝きことの極みになん。われら汝たちのいまわの様態を忘るるこ  
となく。揺ぎなき平和の世界をひたすらに築きゆくは。人類の未  
来への責務にして。そはまた汝たちへの此上なき慰霊の道と思  
なん。世界の人々そが英知をあつめ。平和への確かな道を求めき  
たり。されど人の世に争いの絶ゆることなく。自国の利益のみを  
追い求めんとして。世界の平和を遠きものにしてあり。われら金  
光大神の道を求め現さんとするもの。常も日頃に。『天地の間に  
すむ人間は神の氏子』。『天が下に他人ということはなきものぞ』。  
『人の身が大事か我身が大事か人も我身も皆人』。との神意にそい  
まつり。民族・宗教の違いを超えて。あいよかけよで立ち行くあ  
り方を世界に顕現することを祈り願ひ求めてあり。今日はしも汝  
御霊たちの御前に集いて。「安らかに眠って下さい 過ちは繰返  
しませぬから」と。各も各もが誓いてあるを。み心も穏いに聞こ  
しめしたまい。人類の永久に栄ゆく社会の実現を願ひ。取り組み  
てある核兵器の廃絶と。世界真の平和達成へのあゆみをみそなわ  
したまいて。くじけることなく雄々しく進ましめたまうべく。守  
り導き幸えたまえ。守り導き幸えたまえ。